

総務部防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（令和6年3月31日現在）

分 団 数	団 員 数			定 員
	入 団	退 団	現 員	
28 分 団	16 人	40 人	486 人	544 人

イ 行事

随時 防火・防災予防広報（自治会、イベント等）

ウ 消防団員教育訓練

鳥取県消防学校入校によるもの

- a 4月15日～16日 基礎教育（第76期）
- b 5月13日～14日 消防操法指導科（第46期）
- c 8月26日 警防科（52期）
- d 9月9日 機関科（58期）
- e 8月21日・22日・23日
11月18日・19日・26日 } 応急手当普及員養成講習
- f 2月10日・11日 応急手当指導員養成講習

エ 報酬及び費用弁償

（単位：円）

階 級 区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報酬年額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
機関員加算	ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 可搬ポンプ機関員報酬年額 7,800						
費用弁償	出場、訓練、警戒等 1回につき 2,800						

オ 表彰等（主なもの）

表 彰 等 の 種 類		階 級	氏 名
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	副団長	吉 岡 尚
		分団長	福 景 大 基
		分団長	福 島 公 明
日本消防協会長表彰	精績章	副団長	吉 岡 尚
		副団長	養 藤 繁
	勤続章	分団長	上 杉 次 郎
		分団長	下 村 賢 治

表 彰 等 の 種 類		階 級	氏 名
日本消防協会会長表彰	勤続章	副分団長	中 田 利 幸
		副分団長	高 木 肇
		部長	川 田 学
		部長	植 田 省 吾
		部長	和 田 收
		部長	岩 浅 均
		部長	黒 見 博 之
		部長	堀 口 誠
		団員	隠 樹 千佳良
		団員	尾 沢 昭 雄
鳥取県知事表彰	功労章	副団長	和多瀬 泰 行
		副分団長	高 木 肇
		副分団長	安 達 俊 之
	功績章	副分団長	田 口 雅 章
		部長	石 橋 淳
		班長	本 田 明 広
		班長	阿 部 裕 郎
		班長	渡 部 達 也
		班長	森 本 好 和
		班長	岩 田 輝 男
		団員	鴨 谷 剛
		団員	濱 田 俊一郎
		団員	鷲 見 浩
鳥取県消防協会会長表彰	功績賞	副分団長	石 脇 知 克
		部長	井 上 英 俊
		部長	西 村 卓 哉
		班長	八 田 純 一
		班長	角 茂 幸
		班長	武 部 輝 幸
		班長	小早川 達 哉
		班長	富 山 賢 一
		班長	石 上 敬 輔
		班長	野 口 貴 宏
		班長	山 根 哲 也
		班長	青 山 司 朗
	功労賞	副団長	浅 田 正 人
		副分団長	門 脇 一 男
		副分団長	結 城 佐登志
		副分団長	山 尾 孝 範
		班長	磯 村 茂 稔
		団員	小 西 崇 雄

表 彰 等 の 種 類		階 級	氏 名
鳥取県消防協会会長表彰	勤続賞	副団長	和多瀬 泰 行
		分団長	加 藤 春 彦
		副分団長	河 田 幸 治
		副分団長	石 脇 知 克
		部長	松 田 治 昭
		部長	松 下 猛
		班長	石 上 敬 輔
		班長	野 口 貴 宏
		班長	渡 辺 穰 爾
		班長	山 根 哲 也
		班長	青 山 司 朗
		団員	林 和 孝
		団員	角 勇 人
		団員	津 田 正 博

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓補修

2 防災関係

(1) 県内統一土砂災害防災訓練

県と連携した土砂災害に係る情報伝達訓練を実施した。

ア 実施日 令和5年6月1日（水）

イ 実施場所 防災安全課

ウ 参加者 防災安全課員

エ 成果 各種情報の入手及び共有並びに被害情報の報告要領に習熟した。

(2) 避難所運営要員研修

職員を対象とした避難所開設訓練及び運営訓練を実施した。

ア 実施日 令和5年6月9日（金）、12日（月）

イ 実施場所 明道公民館

(3) 米子市防災訓練（避難行動要支援者避難訓練及び福祉避難所開設訓練）

関係機関と連携し、大雨（土砂災害）を想定した要支援者の避難訓練及び福祉避難所開設訓練を実施した。

ア 実施日 令和6年2月15日（木）要支援者避難訓練、福祉避難所開設訓練及び災害対策本部の実務運営訓練

イ 実施場所 淀江公民館、社会福祉法人いずみの苑、米子市役所（防災安全課事務室ほか）

ウ 参加者 避難訓練等：33人（参加機関等含む）

淀江公民館、社会福祉法人いずみの苑、米子市関係各課（福祉政策課、防災安全課、地域振

興課、障がい者支援課、長寿社会課)

(4) 防災ラジオ事業

令和２年度調達に係る防災ラジオ放送受信機の在庫により貸与事業を継続した。

ア 防災ラジオ放送受信機の貸与状況

〈令和６年３月３１日時点〉

区分	貸与先	貸与台数
有償	一般世帯（優先的貸与）	143
	一般世帯（一般貸与）	2,352
	事業所及び自治会	551
無償	自治会（又は自主防災組織）	414
	消防団	33
	公民館（戸別受信機未設置）	20
	指定避難所等	131
	地区社会福祉協議会の代表者	29
	在宅福祉員の地区代表者	29
	経済的に困窮する視覚障がい者（１級・２級）	135
合 計		3,837

(5) 災害時協力協定の締結

締結日	相手方	協定名
R5. 9. 15	株式会社タカハシ工業	災害時における応援業務等に関する協定
R5. 9. 26	美保テクノス株式会社	災害時における協力に関する協定
R5. 11. 1	株式会社鶴見製作所	災害時におけるポンプ設備故障復旧等緊急工事の請負に関する協定
R5. 12. 8	マテリテック株式会社	災害時における応援業務等に関する協定
R6. 1. 10	豊建設株式会社	災害時における応援業務等に関する協定
R6. 3. 29	角盤町商店街振興組合 株式会社米子高島屋 株式会社ジョイアーバン 株式会社中海テレビ放送 株式会社アバロン	災害時における協力に関する協定

３ 災害関係

(1) ７月１３日 大雨

- ・大雨（浸水害）警報
- ・米子市災害警戒本部設置（１３日）
- ・被害状況 人的被害なし

その他 店舗・家屋への水の流入、複数個所で道路冠水、県道(アンダーパス)で一時通行止め
米子城跡で法面の土砂崩れが発生

(2) ８月１５～１６日 台風７号

- ・大雨（浸水害）警報、暴風警報（ともに１５日）
- ・米子市災害警戒本部設置（１５～１６日）

- ・被害状況 住家・人的被害なし
- その他 市内で短時間停電が発生
- 自主避難所開設（7カ所、避難者0人）

(3) 1月1日 令和6年能登半島地震に伴う津波

- ・津波注意報（1日）
- ・米子市警戒本部設置（1日）
- ・被害状況 住家・人的被害なし
- その他 境港で60cmの津波を観測

4 令和6年能登半島地震に係る支援等 〈令和6年3月31日時点〉

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災した自治体や被災者に対し支援を実施した。

ア 支援物資 ブルーシート900枚（鳥取県が県内自治体からの拠出分をとりまとめて被災地に送付）

イ 職員派遣 避難所物資集配施設支援 のべ 5名（志賀町）
 被災者生活支援等 のべ 2名（志賀町）
 DWAT災害派遣福祉チーム 1名（金沢市）
 家屋被害認定調査 のべ 2名（志賀町） 計10名

このほかに、水道局・西部消防局からも職員派遣が行われた。

ウ 義援金 本庁総合窓口、淀江支所地域生活課、市立図書館に義援金箱を設置(1月5日～6月28日)。

1月5日～3月22日の間は、市内各公民館（29館）にも設置した。

ふれあいの里には、米子市社会福祉協議会が義援金箱を設置(1月5日～6月28日)。

エ その他 被災地からの転入者には、市民二課が窓口となり、関係各課で各種支援策を実施した。

5 防犯対策関係

米子市防犯協議会総会

令和5年7月7日、米子市立図書館多目的研修室で開催した。

会 長 田 邊 忠 雄 （米子市自治連合会長）
 副 会 長 松 本 眞 （米子市自治連合会副会長）
 ” 田 後 良 文 （米子市社会福祉協議会長）
 ” 大 塚 秀 策 （米子市学校校外指導連絡協議会長）

6 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

令和5年6月2日、米子市立図書館多目的研修室で開催した。

会 長 伊 木 隆 司 （米子市長）
 副 会 長 田 邊 忠 雄 （米子市自治連合会長）

(2) 広報用チラシ・ポスターの配布

ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数分配布した。

イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

7 原子力防災関係

(1) 防災訓練の実施

万が一島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で、鳥取県、島根県、島根原発関係市及び関係機関と合同で、原子力発電所事故の通報を受けた後の初動対応訓練を実施した。

ア 初動対応訓練

(ア) 実施日 令和5年10月19日(木)

(イ) 実施場所 市役所本庁舎

(ウ) 参加者 市長、関係幹部

イ 住民避難訓練

(ア) 実施日 令和5年11月5日(日)

(イ) 実施場所 富益地区、東伯総合公園、湯梨浜町各避難所

(ウ) 参加者 約200人(住民137人)

ウ 原子力防災講座

(ア) 実施日 令和5年10月7日(土)、令和5年10月14日(土)

(イ) 実施場所 富益公民館2階 集会室

(ウ) 講師 MRI エムアールアイリサーチアソシエーツ

(エ) 参加者 富益地区住民 99人(2日間計)

エ 船舶を利用した避難訓練

(ア) 実施日 令和5年8月23日(水)

(イ) 実施場所 境港竹内岸壁～鳥取港

(ウ) 参加者 訓練担当職員1人

(2) 原子力防災講演会の開催

ア 開催日 ①令和5年8月26日(土)

②令和5年8月27日(日)

イ 会場 ①境港市民交流センター(みなとテラス)

②米子市立図書館

ウ 講師 広島大学 教授 遠藤 暁氏

(3) 鳥取県原子力安全対策合同会議の開催

今年度は、島根原子力発電所1号機の廃止措置計画変更について、安全対策等を把握することを目的として、米子市原子力発電所環境安全対策協議会委員、境港市原子力発電所環境安全対策協議会委員及び鳥取県による合同会議を行った。

ア 開催日 令和5年9月1日(金)

イ 会場 米子商工会議所大会議室